

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

CDK4/6、SPOP (speckle-type POZ protein) 発現が PD-1 発現に及ぼす影響とその治療効果、および腫瘍浸潤リンパ球 (TIL : tumor infiltrating lymphocytes) の CD8/CD4 発現が PD-1 治療効果に及ぼす影響についての研究)

研究期間：

西暦 2018 年 3 月～西暦 2019 年 3 月

対象材料：

- 病理材料 (対象臓器名：肺)
□生検材料 (対象臓器名)
□血液材料 □遊離細胞
□その他 ()

上記材料の採取期間： 西暦 2011 年 4 月～西暦 2016 年 12 月

意義：

肺癌は予後不良の悪性腫瘍であり、抗がん剤治療効果予測予後の予測因子は重要である。今回の研究で予後予測がより正確に出来れば、より有効な治療法を選択することが可能となる。

目的：

近年導入された免疫治療は、有効な治療法であるが治療効果を予測することが必ずしも容易ではない。PD-L1 は治療効果予測因子であるが、この PD-L1 発現に影響を及ぼす CDK4/6、SPOP を測定し関連を調べることで、より正確に治療効果を予測することが可能となると考えられる。

方法：

肺癌切除組織を用いて、CPK4/6、SPOP の免疫染色を行い、その発現を調べ予後及び免疫治療効果との相関を調べる。

個人情報の取り扱い：

患者情報は、匿名化した番号を用いて研究を行い、患者情報の漏洩に務める。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 呼吸器外科 部長 井上 政昭

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838